

Dance Performance 2008 - 2009

コンテンポラリー・ダンス最前線

内外で活躍目覚ましい〈今〉のダンスを数多く紹介してきた彩の国さいたま芸術劇場。

2008年のプログラムにも刺激的な演目が並ぶ。国内からは、日本ダンス界をリードしてきた

勅使川原三郎が10年振りに再挑戦する『Here to Here』、さいたまではお馴染みになったパワー全開コンドルズ。

一方、海外からは4年ぶりの来日となるラ・ラ・ラ・ヒューマン・ステップスの新作『Amjad アムジャッド』、

ナチョ・ドウアト スペイン国立ダンスカンパニーは代表作『ロミオとジュリエット』でさいたま初登場。

最新作から名作の再演まで、すべてが必見のラインナップ！

5

MAY

コンドルズ 『埼玉スペシャル公演 2008』

「奇跡」を呼ぶ男たち、再来！

恒例となった5月のコンドルズ埼玉公演。

初夏の季節に似合うクールで熱いダンスを見逃すな！

文＝勝山康晴（コンドルズ プロデューサー）

人生において偶然はあります。

たまたまですが、僕は埼玉出身及び在住の子と付き合ったことがあります。なので正直、埼玉のことはよく知らなかったのです。無論、埼玉関係の友達はいます。が、やはり恋人として付き合うのとは、関心の度合いも違うでしょう。

ところがです。おかげさまで、ここ二年連続で彩の国さいたま芸術劇場でコンドルズ公演をやらせてもらいました。するとなんということでしょう！ 僕が中学の時に付き合っていた子が見に来ていたのです！ 劇場からのDMを見て、僕の名前を見つけて。そして現在は埼玉在住とのこと。僕は静岡出身で、その子も静岡出身。そんな二人が埼玉で十年以上ぶりに再会したのです。もはやまるで演歌ショーの前口上みたいな勢いです。

それから二人はちょくちょく会うようになって、時間も出身地も越えた愛を育み、秋には入籍です、などという話であれば美談ですが、そんなことはないですね、はい。が、埼玉で再会した、という偶然は、僕の中の埼玉を感慨深い土地へと変えてゆきました。そう、だから皆様、彩の国で既にコンドルズをご覧になったことがある方も、まだ見たこともなく、ましてや、この原稿でコンドルズを知ったばかりの方も、ぜひともコンドルズ埼玉公演に遊びに来てください。私事かもしれませんが、彩の国さいたま芸術劇場には偶然を引き起こす何かがある気がします。そしてそれは時には「奇跡」とも呼びます。僕とその子の再会は偶然であって奇跡ではないかもしれませんが。それっきりですし。

でも、僕たちコンドルズはステージ上から皆様へ、少なくともひとつの「奇跡」をお届けしましょう。約束します。風清らかな五月、皆様の御来場を心からお待ちしております。



2006年5月大ホール公演
コンドルズ 埼玉スペシャル公演2006
『勝利への脱出 SHUFFLE』より © HARU



2007年5月大ホール公演 コンドルズ 埼玉スペシャル公演2007
『太陽にくちづけ007 トゥモロー・ネバー・ダイ』より © Arnold Groeschel



コンドルズとは

男性のみ、舞台衣裳は学ランのダンスカンパニー、NHK教育『サラリーマンneo』の「サラリーマン体操」や『からだであそぼ』の「こんどうさんちのたいそう」でお茶の間にも大人気の近藤良平が主宰。メンバー一人一人の個性的なキャラクターを存分に生かし、ダンス、映像、アニメ、生演奏、人形劇、演劇をダイナミックに横断する舞台で多くのコアなファンを獲得。国内はもとより海外でも好評を博している。手作り感たっぷりのアニメや映像や人形劇、アコースティックな弾き語り、コンドルズの舞台には欠かせないノスタルジックなスパイス。メンバーは皆、音楽大好き、ロック大好き。『THE CONDORS』としてメジャーデビューも果たす実力だ。しかし何と言っても圧巻なのはロック魂に貫かれたスリリングなダンス。パワー溢れる舞台に今年も期待！

<http://www.condors.jp>

●●●● DANCE ●●●●

コンドルズ 埼玉スペシャル公演2008

【日時】5月17日(土) 開演 14:00 / 19:00、18日(日) 開演 16:00

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

【構成・映像・振付】近藤良平 【出演】青田潤一 石淵聡 オクダサトシ 勝山康晴 鎌倉道彦 古賀剛 小林顕作 橋爪利博 藤田善宏 山本光二郎 近藤良平(以上予定)

【チケット(税込)】一般：前売4,000円 / 当日4,500円

メンバーズ：前売3,600円 / 当日4,050円 学生席：2,000円

【発売日】一般：2月9日(土) メンバーズ：2月2日(土)